



明照保育園
 連絡はこちらへ
 TEL...0182-32-7388
 HP・FB 随時更新中
 2023年6月1日 発行

【園長 5月の放浪記】

(津村 侑弥)

5月はお坊さんの事業で比叡山から山を下り京都市内を歩き各本山で法要を行うといった大きな事業（私もちょいちょい出てきます。マニアックな動画ですがご覧になりたい方は、右記のQRのYouTubeをどうぞ）や研修会等で奈良県や山形県天童市に行ってきました。



奈良県は初めて訪問しました。違う土地に行けば驚く体験が何回もあるもんですね。

奈良に向かう途中にバスから見た公園には、当たり前のように鹿が数えきれないくらいいて観光客に群がっている。観光客が鹿に追われている様子や、車道には鹿の飛び出し注意の標識。

大きな高速道路の工事途中を見て、聞けば何十年も工事をしているとのこと。なんで？と聞けばそこら中に古墳があって出てしまうと中断して・・・。そう聞いてあたりを見回せば、あの小高い山も古墳、あの森も古墳、地図見れば保育園の横、小学校のそば、ラーメン屋の近く、民家の中にある場合もあって、そこら中に古墳の表示が。奈良の人は工事の際、出ないことを祈るんだとか。生活に歴史が溶け込んでいる古都奈良の奥深さを感じました。



合間で訪れた世界最古の木造建築（670年）の五重塔などを有する法隆寺。見るものの多くが700年代など、歴史の深さが違います。1300年前の人たちが手を合わせてきた仏像たち。すらりとしたモデル体型に、現在の仏像のイメージと違う、当時の流れを感じさせます。中心に存在するのは薬師如来さんという仏様でした。この薬師如来さんはお薬の壺を持っています。この時代に思いを巡らせれば、人々の恐れることは、病気が死に直結することだったのでしょ。う。「どうか治してほしい、かからないように・・・」という声をたくさん見聞きしてきたという重みが、仏様から全身に伝わってくる体験でした。

コロナも明け観光客が多くいた温泉地の天童であがっていた湯けむりは、復活の狼煙のようにも見え風情と活気がありました。この場所もいいな、あの場所もいいな、横手は秋田はどうかかな～と思ってきたところに、私を「ちょ、待てよ！」と時代を感じさせる言葉と共に、キムタク演じる風間教官のごとく、叱ってくれた人物がいます。秋田出身の脚本家、内館牧子さんです。

毎月第1・3日曜日に連載している秋田さきがけ新聞の1面左側『明日も花まるっ!』、先月21日(日)の記事でした。表題は「どうしてこう違う?」。私とい

う一人の人として、そして子どもと接するときの大人として取り組むべき姿勢が書いてあった記事でしたので、是非知っていただきたく、かいつまんで紹介します。(読みたい方はありますのでお声がけください。)

内館さんは父親が岩手県出身、母親が秋田県出身で、親せきや知人など両方の県の方の話を聞く機会が多いそうで、とある友人が記事の冒頭ばやきます。

「秋田は風土に恵まれて全国的に見ても豊かだ。色んな災害もなんでか秋田を外れてく。岩手は昔から飢饉や冷害の連続で。秋田県はラテン気質。あれは豊かさが作ったんだよ」と。内館さんが体験している両県の人たちと接して感じる岩手県と秋田県人の違いは、秋田県人は「秋田を何もない」といい、岩手県人は絶対に言わないということ。むしろ、文学的には石川啄木、宮沢賢治、スポーツでも大谷翔平、菊池雄星など、その他のジャンルでも他にないものが幾らでもあると当然のように言ってくるんだとか。

内館さんは続けます。秋田だって岩手に負けなくらいたくさん魅力があるのに、秋田の人は「なんにもなんにも、たいしたごどね」と言い、反省したとしても酒のんで寝れば忘れるラテン気質。魅力を感じているポテンシャル(潜在能力)と、気づいていない差は大きいという指摘でした。内館さんは過去にさきがけ新聞で掲載された大仙市商工会の会員大会で講演された日本総合研究所の主席研究員 藻谷さんの記事も紹介。藻谷さんは「秋田を食料とエネルギーに恵まれた天国とも言える、なのになぜ人口減少が進んでいるのか、何もないと言い続けた天罰が下っている」と。そしてこの講演で用意されたペットボトルの水が東京の製造者だと知り、「秋田は水不足なんですか?」と。多少高くても地元にも目を向けましようよということでした。

子どもたちと接するとき、どれだけ秋田や横手の魅力を語っているでしょう。他ももちろん良いところはたくさんありますが、羨ましさばかりを語っていないでしょうか。まさしく、大人の背中を見て子は育つということなんだと私自身、教えられたような記事でした。

出張する時、飛行機は電波が使えないので、支障がないスマホのアルバムの中の子どもの写真を見返してしまいます。うちの1番上の子は中2、下は年長。段々、子どもではなくなっていく寂しさを感じます。子どもといることができる限られたこの時間の中で、住んでいる場所の魅力をもっと伝えられるようになっていきたいし、今の子の成長も大事にしていきたい。あっという間に中学生、今度は高校生となっていく。例えば、「中学生(小学生)になった君へ。あなたは今こんなことが好きです。こんなところが私は好きです」、そんな今の親の想いを書き留めておいてもいいかもしれません。住んでいる場所の魅力は大事だけど、あなたの魅力も伝えていければいいと思う6月の気持ち。

今月の歌 3歳未満児組...「あめふりくまのこ」「はみがきのうた」
 3歳以上児組...「はみがきのうた」「とけいのうた」「にじのむこうに」

今月の目標

0歳児 (ひよこ組)	安心する環境の下、興味のあるものに触れ探索活動を楽しむ	3歳児 (もも組)	梅雨期の自然に関心をもち、雨や雨上がりならではの発見を楽しむ
1歳児 (りす組)	友達の遊びや行動に関心をもち、関わって遊ぶことを楽しむ	4歳児 (ひまわり組)	梅雨期の身近な自然の変化に関心をもち、遊びへ取り入れて楽しむ
2歳児 (うさぎ組)	友達との対話から言葉が増え、言葉での気持ちの伝え合いを楽しむ	5歳児 (さくら組)	野菜栽培体験を通し、生長の過程があることを知り、世話を楽しむ

今月の行事 【全児面談月間】

1日(木) 衣替え 詩吟勉強会(さくら組) 11:00~11:30	15日(木) 交通安全指導 9:30~9:50 ~雨天時の交通安全について~ 法人評議員会 13:00~14:30 (九品寺 本堂にて)
2日(金) 虫歯予防指導(2~5歳児) 9:10~9:30	21日(水) 誕生会 10:00~10:40 職員ミーティング 13:00~14:00
8日(木) 性教育講座①(さくら組) 11:00~11:30 ~かおとからだのひみつ~	22日(木) 昔語り(3歳以上児組) 11:00~11:30
9日(金) 避難訓練(地震) 10:00~10:30 ~指示で安全な場所に入り、静かにふせる~	23日(金) 身体測定
10日(土) 親子遠足 大台野広場(ラバンダー園 美郷町) 雨天決行 10:00~11:30	7月の保護者さん参加行事 7/15(土)こども縁日(全児) 7/28(金)夕涼み会(さくら組)
保育実習...5日(月)~17日(土) 12日間(聖園短大2年生)	看護実習...1日(木)・2日(金) 20日(火)~22日(木)
職員の研修その他	
2日(金) 秋田県保育研究会(鹿角市)	16日(金) 新採用者研修(湯上市)
8日(木) 食物アレルギー対応研修会(浅舞公民館)	21日(水) 主任保育士会研修会(浅舞公民館)
15日(木) 市保育研究委員会(浅舞公民館)	30日(金) 園内研修リーダー養成講座I(秋田市)

もも組(3歳児) 4歳になります! さんさん

おたんじょうび おめでとう! さんさん

ひまわり組(4歳児) 5歳になります! さんさん

みんなの「げんき」のもと!

3歳以上児組へのご協力をお願い

新体制になり2か月が経ちました。この間に、「ご家庭からの連絡事項が伝わっていない」「登園時にお話したのに...」など、大変ご迷惑をおかけしたことがありました。どの職員に話してもスムーズに伝わるよう、いま一度申し送りの仕方を話し合い取り組んでいます。

3歳以上児組は、これからの季節、汗のため着替えをする子が多くなってきます。着替え袋の持ち帰りを今までのこちらからお渡しする形に加えて、保護者さんが「お着替え袋もって行くね!」とクラスに入り持ち帰ることをプラスしていきたいと思います。(一言、お声がけください。)

保護者さんの可能な部分でのご協力をいただきながら、一緒に子どもの育ちに向き合っていきたいです。ご理解をよろしくお願いいたします。

6/1は衣替えですが、年々暑くなる季節が早まり、すでに日中は夏服に切り替わっている子どもも多いですね!

今一度、着替え袋の中の確認をお願いします。また、記名が見えなくなっていたり、きょうだいの名前のままだったりしていませんか? 合わせてご確認ください。

雨の日は、傘やレインコートの出番が増えてきますね! 道路を歩くときは、いつもより見通しが悪くなるので、気をつけましょう! また、雨が上がると傘の忘れ物がチラホラ... 晴れてもおうちに連れて行ってくださいね!